

市長と語る会(令和元年7月10日 白糸台文化センター第二会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
1	「ラグビーのまち府中」の取組は、市長がラグビー経験者であることから特色が出ていて、とても良い取組だと感じています。	「ラグビーのまち府中」は、私がラグビー経験者であることよりも、府中市にラグビーのトップチームが2チームあるという特徴を活かした取組です。ラグビーワールドカップロンドン大会では、日本代表選手31人のうち、11人が府中市のチームに所属する選手でした。このようなまちは、他にはありませんので、「ラグビーのまち」を掲げることで、選手やチームの応援に繋げるほか、市民の皆様が府中市に愛着を持つきっかけになればと考えています。	政策課
2	高齢になった時を考えると、車の運転を不安に感じており、営農を諦める必要があるのではと考えています。車を運転しなくても農作物を出荷する手段があると良いと思います。国分寺市の「こくベジ」のような取組を考えていただきたいです。		経済観光課
3	多摩川の河川敷でバーベキューをすることができますが、府中市郷土の森観光物産館で府中産の野菜を含めたバーベキューセットを販売すると、地産地消を更に推進できると思います。	バーベキューセットはPRすれば売れると思います。観光協会と連携した取組ができないか確認してみます。ただし、肉も売らなければならないし、ごみ処理の課題もあるものと考えています。	経済観光課
4	「農業まつり」は、府中市の農業をPRする良い機会だと思っていますが、市外の方には来場していただけないように感じます。現在は郷土の森博物館で開催していますが、より交通の便が良い場所で開催した方がよいのではないのでしょうか。	「農業まつり」は多くの市民の方に来場していただいている状況にあり、そのことで、市外の方にまでお楽しみいただくことはできていないのではと感じています。また、以前は、府中公園で開催していたのですが、付近に違法駐車する方が多く苦慮していた経緯があり、けやき並木に場所を変更しても課題は同様だったことから、10年ほど前から郷土の森博物館で開催するようになりました。今回いただいた意見をきっかけに開催場所について良いアイデアが出ればと思います。	経済観光課
5	都内の就農者と勉強会を行っており、都内にも志が高い就農者が大勢いると感じています。他自治体の就農者と話す中で、地産地消を進める一方で、府中産の美味しい野菜を他市に出荷してアピールすることも必要ではないかと考えています。また、未来につなげるためには、農業が収入を多く得られる産業として成り立つことも重要だと思います。		経済観光課

市長と語る会(令和元年7月10日 白糸台文化センター第二会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
6	せっかく作った農作物が日によっては余ることがあり、何とかできないかと日頃から考えています。最終的に、値崩れしてしまえば、利益をあげることも難しくなってしまうため、例えば、ジュースやカット野菜にする共同の加工場があると良いと思います。加工品を販売することで若年層の購入者も増えると思います。	今後も農業が府中市の産業として成り立つためには、就農者や市、関係機関との情報交換を通じて、ご意見のあった共同加工場のような形に繋げていくことも必要だと考えています。	経済観光課
7	府中市では、生産緑地の部分解除ができないため、相続のことを考えると、将来に不安を感じます。市として農地を残すために農業者に寄り添った取組を行っているただけだと農業後継者も増えるのではないかと思います。	条例で対応可能な範囲や生産緑地の部分解除が関係法令と整合性が取れるものであるか等を今後研究してまいります。	公園緑地課
8	限られた場所でも良い農作物を生産することはできますが、府中産の野菜に対するブランドイメージが商店側に無いため、飲食店で扱ってもらえないか訪ねても受け入れてもらえないことがあります。けやき並木で開催したフードフェスタで直接、野菜を販売した際には好評だったので、販路を探ることが重要だと思います。		経済観光課
9	農作業をしていると自然と近くの小学校に通う子ども達と挨拶をしたり、顔見知りになるので、少なからず見守りの側面からお役に立っているのではないかと感じています。軽トラックに見守りのステッカーを貼ったりさせてもらえれば、更に防犯面でお役に立てるのではないかと思います。		児童青少年課
10	地産地消を推進するためには、農作物の生産者である「農業」、加工場等を営む「工業」、飲食店等を営む「商業」が地域レベルで連携する必要がありますが、そこに「市」も加わって「市・農・工・商」の連携を深める場が必要だと考えます。	府中市は工業が盛んで製品出荷高は多摩26市で最も多い状況にあります。工業と農業が繋がることで販路の拡大も図れると思います。また、現状では、農家の皆さんが飛び込みで飲食店を訪ねても、販路の拡大に結び付きにくい状況もあるようなので、市や商工会議所、JA等の公的な機関が何らかの形で農家と飲食店の間に入るような取組について検討します。	経済観光課

市長と語る会(令和元年7月10日 白糸台文化センター第二会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
11	<p>府中市は昼間人口が減っているのではないかと感じます。府中駅前の飲食店もランチが売れなくなってきている状況を耳にします。市内で働く人が増えれば、工業や商業が盛り上がり、そこに農業も加わることでできるような取組が必要で、昼間人口が増えれば結果として農業も盛り上がるのではないかと感じています。</p>	<p>府中市は昼間人口と夜間人口に差が無いと言われており、それは今も変わっていないと思います。ただし、市内で購買している方は少し減少しているのではないかと思います。市外から人を呼び込むことも重要ですが、シニア世代の方に市内で購買していただけるような取組も必要だと思います。</p>	<p>経済観光課</p>